

令和6年度「全国学力・学習状況調査」結果についてのお知らせ

羽曳野市立羽曳が丘小学校

■この調査は

義務教育の機会均等とその水準の向上のために、児童生徒の学力や学習の状況を把握・分析して教育施策の改善を図るとともに、一人ひとりの児童生徒の学習の課題を把握して指導改善につなげるために実施しました。本校の子どもたちの課題について共通理解を図り、学校・家庭・地域が一体となって学力・学習状況の改善に取り組めるよう、結果の概要をお伝えします。

■調査の結果は

対象が小6と中3、教科も国語／算数・数学／理科に限られています。したがってここに示す結果は児童生徒の「学力の特定の一部」であることをご理解ください。(英語・理科は、3年に1度の調査となります。)

1 調査結果について

■学力調査結果からみえる本校の子どもたちの姿

- ・国語、算数とも大阪府の平均正答率を上回っていますが、全国の平均正答率は、算数ではやや上回っており、国語はやや下回っています。
- ・国語では、「知識・技能」の内容においては正答率が高い傾向があります。一方、「思考・判断・表現」の内容においては正答率が低く、「話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉える」「目的や意図に応じ、話し手の考えと比較しながら自分の考えをまとめる」ことに課題がみられます。
- ・算数では、「図形」や「変化と関係」の領域に定着がみられる一方、「数と計算」や「データの活用」領域は苦手傾向にあり、特に、数と計算では「除数が小数である場合の除法の計算ができる」こと、データの活用では「必要なデータを取り出して、落ちや重なりがないように分類整理することができ」ることに課題がみられます。また、国語と同様に算数でも「知識・技能」に内容については正答率が高く、「思考・判断・表現」の内容については正答率が低い傾向にあります。

■質問調査からみえる本校の子どもたちの姿

・よい傾向がみとめられる項目

- 就寝時刻やゲーム時間などの結果から、本校児童の家庭の学習環境は全国や大阪府と比較して恵まれた環境であることがうかがえます。また、「困りや不安があるときにいつでも相談できる」や「学校に行くのは楽しい」の結果から学校を肯定的に捉える児童の割合が多くなっています。
- 多数の項目において全国より良い傾向がみられます。特に、児童の学習意欲や社会貢献への意欲が高く、創意工夫する楽しさを感じている児童が増えています。

・課題となる項目

- 5年生までの授業でICT機器を使用した頻度が全国や大阪府の値と比較して低い傾向にあります。
- どの教科においても学習意欲は見られるが、学習の大切さや役に立つという項目が意欲と比べると低い数値となっています。

■児童質問紙と学力調査結果とのクロス集計結果からみえる本校の子どもたちの姿

・正答率と特に強い相関関係があるという結果があらわれている項目

- 「授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にしてお互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか」に対して、周りの考えを大切に、協力している児童ほど、正答率が高い傾向にあります。
- 「道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか」に対して、肯定的回答者ほど正答率が高い傾向にあります。
- 「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる」、「分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできている」など自分で考える行動を実行している児童ほど、正答率が高い傾向にあります。

2 これからの取組みについて

■学校で取り組んでいくこと

- ・校内研究テーマである「言語活動を大切にした授業」に取り組んで3年目となり、自分の意見を考え、相手に伝わるように工夫して発表する機会を積むことができています。また、ICT機器を授業の中で効果的に使用する機会を増やしていることで、使用頻度の割合は昨年より高くなっていることから、引き続き、ICT機器を使用するように意識していきます。
- ・国語では伝えたいことを明確にするための学習経験を積むためにマッピングやKJ法、その他の思考ツールなどを活用しています。今後も効果のある方法や活用の仕方を共有し、伝える力を養っていきます。また、物語の指導において、登場人物の心情や人物像を読むときは、根拠となる叙述に結び付ける指導を徹底していきます。
- ・算数では、普段の授業の中にも記述による解答の経験を学習活動に今後も取り入れていきます。また、本校の児童の算数のつまづきを早期に把握し、クラス単位ではなく、学年・学校全体で関わって児童のフォローをしていきます。
- ・どの学年でも授業交換を実施するなど、多くの教員が児童と関わるような取組みを進めていきます。

■家庭において取り組んでいただきたいこと

- ・ゲームやテレビ、スマートフォン等の使用に関わる家庭ルールを決めてください。また、定期的に決めた内容について家庭での話し合いをお願いします。
- ・朝食の摂取、睡眠時間の確保、家庭での読書や学習など、家での時間の使い方についてお子さまと話題にしていただき、心も身体も健康でいられるよう、ご協力をよろしくお願いします。
- ・3年生以上においては、自主学習ノートに意欲的に取り組んでいる児童が増えています。家庭においても励ましの声かけなどをお願いします。